

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
日本語Ⅳ(J1)	共通	1・2年生・後期	2単位	選択	古川 幸子
履修の前提条件	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。「日本語Ⅲ」に続く内容ですが、「日本語Ⅲ」を受講していなくても受講可能です。				
授業概要 (Course Outline)					
国を越えて共有できる今日的な問題で、多様な側面を持つトピックについて、関連資料を分析したり、ディスカッションしたりしながら、内容を深めていきます。グループワークやディベートなどを通して、自分の考えを日本語で豊かに発信できるように、授業を展開していきます。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				○
	リーダーシップ Leadership				○
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、特に口頭発表の技術を高め、円滑なコミュニケーションができるようになることを目標とします。また、日本の文化や習慣、価値観などに対して、グループで調べたり話し合ったりして、日本社会について深く理解できるようになることがこの講座の目標です。					
事前学習の内容	次の学習内容の言葉調べなど、各講指示します。他に、JLPT対策プリントなど。				
事後学習の内容	講義内容の復習、小テストのための復習など。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
各トピックに対して、グループで資料を調べたり、ディスカッションしたりして、意見をまとめ、発表します。発表原稿を作成し、事前に必ず提出してください。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせの方法は、授業の1回目で教えます。週に1回しか大学に来ませんが、いつでも連絡できるようにします。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本語能力試験(JLPT)を受験してください。必須ではありませんが、授業で能力試験対策練習を行うので、受験を強く勧めます。今年は、第1回7月1日(申込4月末まで)第2回12月2日(申込9月末まで)です。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(講義内容、受講のルール、評価の方法など)、受講アンケート、トピック④(教育)導入		
第2回	トピック④キーワード、ディスカッション		
第3回	トピック④関連資料(グラフ)からわかることを考える。		
第4回	トピック③関連資料(文章)のことば、表現(文法)		
第5回	文章理解(速読から精読、要約)、小テスト		
第6回	トピック関連グループワーク(グループ分け、資料読み、役割分担など)		
第7回	発表準備(レジュメ作成、発表練習など)		
第8回	グループワーク発表会・質疑応答・評価		
第9回	トピック④(昔話)への導入、キーワード、ディスカッション		
第10回	トピック④関連資料(グラフ)からわかることを考える。		
第11回	トピック④関連資料(文章)のことば、表現(文法)		
第12回	文章理解(速読から精読、要約)、小テスト		
第13回	ディベート準備(手順の説明、グループ分け、作戦ミーティングなど)		
第14回	ディベート・評価		
第15回	後期学習のまとめ		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
トピックによる日本語総合練習(中級後期)	安藤節子・田口典子・佐々木薫 赤木浩文・坂本まり子	スリーエーネットワーク	978-4-88319-213-7
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
平常点(授業中のパフォーマンス、態度、HW提出状況など)45%、定期試験40%、小テスト15%で、評価します。			

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
日本語Ⅳ(J2)	共通	1・2年生・後期	2単位	選択	全 彰煥
履修の前提条件	留学生を対象とする基礎日本語講座である。 主に、上級日本語力の豊富な語彙と表現の取得を目指す。				
授業概要 (Course Outline)					
日常生活や大学生活で経験するさまざまな場面において、周囲と摩擦を起こさずに、コミュニケーションができるように、一般的によく使用されるフレーズを知り、会話のパターンを身につける練習を行っていく。 併せて、日本の習慣、文化に関して知識を得、理解を深めていく。					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	○			
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○			
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving	○			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy	○			
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork	○			
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense	○			
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	○			
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
日常生活で、周囲の人とスムーズにコミュニケーションができ、お互いを尊重できる人間関係が築けるようになることが目標である。日本の文化や習慣について、知識を得、日本社会全般について理解を深めてほしい。また、日本語能力試験N3以上に合格することを期待する。					
事前学習の内容	次の学習内容の言葉調べなど、各講指示する				
事後学習の内容	講義内容の復習、復習チェックテストのための復習等をする。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
日本の文化や習慣について、自国と比較したり、意見交換したりするので、積極的な発言を期待する。また、この講座で学んだ日本語表現を必ず使ってみてその感想をクラスで発表してもらう。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
① 連絡・問い合わせ・相談: 研究室(453)にて随時受け付ける。 ② オフィスアワー: <水>2-5限目 ③ メール: jonhan@kiis.ac.jp					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本語能力試験(JLPT)を受験すること。今年は、第1回7月1日(申込4月末まで)、第2回12月2日(申込9月末まで)である。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出する。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(講義内容、受講のルール、評価の方法など)、受講アンケート、自己紹介		
第2回	表現文型⑮: 例示	聴解・発表(インターネットニュース)①	
第3回	表現文型⑯: 強調	聴解・発表(インターネットニュース)②	
第4回	表現文型⑰: 話題	聴解・発表(インターネットニュース)③	
第5回	表現文型⑱: 逆説・譲歩	聴解・発表(インターネットニュース)④	
第6回	表現文型⑲: 原因・理由	聴解・発表(インターネットニュース)⑤	
第7回	表現文型⑳: 仮定条件・確定条件	聴解・発表(インターネットニュース)⑥	
第8回	表現文型㉑: 逆説仮定条件	聴解・発表(インターネットニュース)⑦	
第9回	表現文型㉒: 不可能・可能・困難・容易	聴解・発表(インターネットニュース)⑧	
第10回	表現文型㉓: 傾向・状態・様子	聴解・発表(インターネットニュース)⑨	
第11回	表現文型㉔: 経過・始末	聴解・発表(インターネットニュース)⑩	
第12回	表現文型㉕: 否定・部分否定	聴解・発表(インターネットニュース)⑪	
第13回	表現文型㉖: 伝聞・推量	聴解・発表(インターネットニュース)⑫	
第14回	表現文型㉗: 心情の強調・強制	聴解・発表(インターネットニュース)⑬	
第15回	表現文型㉘: 誘い・勧め・注意・禁止	聴解・発表(インターネットニュース)⑭	
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「日本語表現文型500」 一中・上扱一	友松悦子・宮本淳 和栗雅子	アルク	ISBN-13: 978-4757418905
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示する。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
① 定期試験 ⇒ 50%、課題/1:1チーム発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20% ② 平常点は、「外部試験」、「ポートフォリオ:科目別履修確認チェック表」の評価を含む。			